

すいせん



発行者 須崎協議会 文化厚生部
 下田市須崎1799番地
 須崎漁民会館内
 電話 0558(22)8056

題字: 梅田弥祐先生

夏本番

区長 森田 学 (そはや隠居)

今年の梅雨は、東海や関東申信越地方など各地で記録的な短さとなり、6月末には早い夏が到来しました。しかし、梅雨明け以降、晴天は長続きせず、7月初旬の頃から曇りや雨模様为天候が多く大雨の可能性もあり油断できませんでした。7月下旬になると、だんだん夏らしく晴れる日が増えて、盛夏というよりは猛暑に近い日が続いています。須崎区は7月16日(土)九十浜海水浴場を開設しました。オープン間近の頃は、熱帯低気圧や台風4号の影響を受けましたが、7月下旬になると賑わいを増してきましたが、コロナ第7波の影響が心配されます。

*「地域一斉清掃活動について」

7月16日は雨模様の中、清掃を実施してくださいだった組がありました。又、一週間延期して7月23日に実施した組もありました。

雨模様と夏らしい暑さの中、地域清掃にご協力いただき有難うございました。お陰様で道路周辺の雑草等がなくなり綺麗になりました。

ただ、道路側面の高い部分には木々(枝)や蔓が覆いかぶさり通行等にも支障がある場所があり、整備してほしいという声も届いています。所有者の許可を得て整備をしていく必要があると思いますので区民の皆様にもご協力をお願いします。

*「下田市総合防災訓練について」

下田市総合防災訓練が9月4日(日)午前9時から12時の日程で行われます。須崎地区では、12月の地域防災訓練のみで、例年9月には実働訓練を行っていません。しかし、7月下旬には県東部や駿河湾を震源とする小規模な地震も発生しています。各家庭において以下の6項目のなかで可能なことを実施・確認していただけるようお願いいたします。

- ① 水・非常時の食料、生活必需品、非常電源(乾電池等)、常備薬など備蓄品の点検及び整備
- ② 最寄りの指定緊急避難所、避難経路の確認
- ③ 電話不通時の家族の安否確認方法や集合場所(指定避難所等)の確認
- ④ 消火器、消火剤の使用期限等の確認
- ⑤ 自宅の耐震化、ブロック塀の転倒防止器具・家電の固定、ガスを飛散防止設置等の安全対策の確認
- ⑥ ハザードマップを活用した自宅所在地の被害想定(想定される津波の高さ、到達時間等)の確認

今年の夏(7月~9月)の平均気温は平年より高く、全国的に厳しい夏になるようです。猛暑の時期は、昼間だけでなく夜間も熱中症の注意が必要です。就寝時も体から水分が失われるため、就寝時や起床時にコップ一杯程度の水分補給をして熱中症対策を心がけてみてはいかがでしょうか。

ご意見募集

市、区などへの要望
 ご意見、ご質問
 ご提言、ご質問

身近な話題

わが家の自慢、何でも結構。お寄せ下さい

須崎協議会 事務所

SCANNER

七月の捕獲情報

4日(月) 括り良 1頭 40匹
 西部農道赤崎道入口タナノ山林

5日(火) 括り良 1頭 20匹
 須崎御用邸内にて

6日(水) 括り良 1頭 40匹
 小白浜側新右衛門屋の畑の竹藪

18日(月) 括り良 1頭 120匹
 西部農道又次郎屋の隣弥平屋の畑

26日(火) 括り良 1頭 15匹
 小白浜2組三四隠居附近の竹藪

27日(水) 括り良 1頭 40匹
 小白浜2組長吉の畑寄せ

28日(木) はこ良 1頭 40匹
 御用邸側こん太の横奥側

〜お悔やみ申し上げます〜

《六月》
 30日 村松 たけ子さん 93歳(宇石)

《七月》
 13日 土屋 とみ子さん 95歳(海っ子)

七月の実施行事

1日(金) 回覧日、カイロ健康施術会(憩の家)

2日(土) 回覧日、カイロ健康施術会(憩の家)

6日(水) 古着回収

8日(金) 古着回収

10日(日) わらいの輪の会中止

14日(木) 区協議会定例会

16日(土) 夏祭り中止(浜掃除は実施)

18日(月) カイロ健康施術会(憩の家)

22日(金) 九十浜海水浴場オープン

22日(金) 古着回収

22日(金) リサイクル分別収集

24日(日) 市内小・中学校終業式

第44回国際カジキ釣り大会

八月の実施行事

3日(水) 古着回収

5日(金) 回覧日、カイロ健康施術会(憩の家)

6日(土) 回覧日、カイロ健康施術会(憩の家)

7日(日) 新盆水向

9日(火) リサイクル分別収集

11日(木) 山の会

17日(水) 区協議会定例会

20日(土) 古着回収

24日(水) カイロ健康施術会(憩の家)

リサイクル分別収集

市内小・中学校始業式

九月の実施行事

2日(金) 回覧日、カイロ健康施術会(憩の家)

3日(土) 回覧日、カイロ健康施術会(憩の家)

6日(火) 安全運転管理者講習会①

7日(水) 安全運転管理者講習会②

8日(木) 古着回収

8日(木) リサイクル分別収集

16日(金) わらいの輪の会

17日(土) 区協議会定例会

19日(月) 回覧日、カイロ健康施術会(憩の家)

21日(水) カイロ健康施術会(憩の家)

21日(水) 胃がん検診(市民保健課)

22日(木) 古着回収

23日(金) リサイクル分別収集

【秋分の日】

地区での学びが子供の心に

広がっていくことを願って

浜崎小学校 校長 菊池 正仁

毎日うだるような暑さが続いています。学校では新型コロナウイルス対策と熱中症対策の両立に細心の注意を払いました。登下校は距離をとってマスクを外すことに加え、ヘルメットと赤白帽子、ランドセルとリュックや手提げを家庭で選択できるようにしました。ご家庭でじっくり考えていただき、それぞれのお子さんにとってよりよい方法を進めていただいています。夏休み明けも九月まで続けていく予定です。

新型コロナウイルスと熱中症、登下校時の身の安全など様々なリスクのある中で、どの方法や手立てが良いか判断が難しくなってきました。学校でも、迅速かつ柔軟に対応していきたいと考えています。教室ではマスク着用ですが、換気しながら冷房するという形で進めています。浜崎小学校の保護者の皆様にはマスクの用意や毎日の検温など大変協力的なもので、この一学期は、計画していた行事をほぼ行って、一学期を終えることができました。本当にありがたいことだと思っています。

そうした中、七月八日に三年生が天草の砂ふり体験をさせていただきました。漁協の新支所長の飯田さんにも資料の準備、丁寧な説明やお話をさせていただきました。そして、今年も海女皆さんに温かく迎えていただきました。須崎の天草の歴史や素晴らしさを知ることとは、他地区ではできないとても魅力的な勉強です。「日本中に誇れることが、こんな身近にもあったんだ。」ということを知ります。これから地域のことを学んでいくうえで、最高の入り口になります。例えば、高学年になると流通のことを学びます。地元天草が日本各地に送られることがどれだけすごいことか再確認できるでしょう。また自然体験したり環境問題を学んだりすると、「このきれいな須崎の海にも、海洋汚染が迫ってきている。この須崎の海や資源を守っていくにはどうしたらいいのだろう。」成長するにつれて、課題にも目を向け地域を支える人になってほしいと願っています。

そして、私は海女の皆さんの心の温かさが大好きなのです。教科書にも教科にもありませんが、こんな素敵な人たちが身近にいる幸せを子供たちには感じ取ってほしいのです。子供たちは「とても優しくかった」「上手で金賞と言ってもらえた」と喜んでいました。プロの方に褒められたのです。説得力が違います。子供たちにも、もっともっと地域を好きになってほしいのです。下田市の教育大綱は「下田市に誇りをもち、未来を切り拓く志をもった人」です。正に須崎での学びがここにつながっています。今後も地区の方へ足を運びたいと考えています。よろしくお願いたします。最後になりましたが、猛暑が予想されます。お体ご自愛ください。

〈7月の学校の様子〉

7/5 6年生 地域学習の日 歴史散策



7/22 1学期終業式 リモートで行いました



7/8 3年生 砂ふり体験

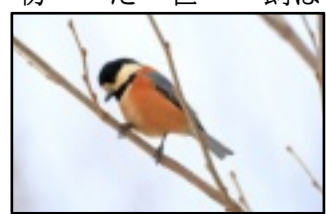


須崎で見られる野鳥

丑嶋 久雄

16, ヤマガラ (山雀)

先日、テレビを見ていたら、新潟県の弥彦山で、登り口に野生のヤマガラがやってくるまで登山客の手から直接ヒマワリの種を取って食べる様子が放送されました。ヤマガラは人懐っこい性質で、平安時代には飼育されていた文獻が遺されています。江戸時代からは「おみくじ引き」「釣瓶引き」などの芸をさせて見世物にしていたことがありました。須崎では個体数が少ないのか見たことがありませんでしたが、昨年、近くの電線に止まって「ツイッピー、ツイッピー」と囀るヤマガラを初めて見ました。



体長14cmくらい。雌雄同色で、背・翼は灰色、腹は茶褐色。頭は黒色と白っぽい淡い褐色です。主に日本、中国の東部、朝鮮半島、台湾などに棲息し、日本では、ほぼ全国に分布している留鳥です。キツツキがあけた穴や小さな樹洞などに巣をつくるのが普通ですが、人工の巣箱もよく利用するようです。食性は雑食で、昆虫、クモ、果実などを食べます。主に樹上で採食し夏季は主に動物質を、冬季は主に果実を食べます。特にエゴノキの実を好み、秋にはくちばしでたいたいて中身を食べます。また樹皮などに果実を蓄える事(貯食)もあるそうです。

ヤマガラについて「鳥飲み爺」という民話がありました。

昔、お爺さんが山仕事にいつて、弁当箱を木の枝にかけておいたら、鳥(ヤマガラ)に食べられてしまったのでお爺さんは腹をたて、その鳥をつかまえひと呑みにしてしまつた。すると、へそから鳥の片足が出て、もそもそ動く。お爺さんくすぐったくてたまらない。そこで、鳥の片足ひっぱってみると、「ぴんぴんぴんどり」と、腹の中から、美しい鳥の音が聞こえてきた。……物語のこの後は、これがお殿様の耳に入り、褒美を貰う。隣の欲張り爺さんが真似をしてひどい目に合う。という事になります。「花咲か爺さん」「瘤取り爺さん」と似ていますね。また地方によって、「片足」が「尾羽」になったり変化があるようです。